

**現状・課題** | 長野県の山岳環境は、世界級の魅力を有する地域観光資源である。しかし、身体的ハンディ等を持つ来訪者や家族への対応は発展途上であり、観光振興において大きな機会損失となっている。

**目的** | 本事業では、宿泊・飲食、旅行業者・団体、行政等を対象に、誰もが楽しめる山岳観光アクティビティの推進や地域での移動・宿泊・飲食・医療等のコーディネートを担う「ユニバーサルツアーコンシェルジュ」の育成を行うことで、新たな山岳観光市場の開拓、地域産業やまちづくりの活性化を狙う。

※本提案事業におけるユニバーサルツーリズムは、特に障害者や高齢者等で身体的ハンディキャップを持つ方を主な対象と想定し、それに対応可能なツアーコンシェルジュを育成する。

## ■対象者（人数・属性）

属性：宿泊・飲食業、旅行業者や観光団体、行政観光担当者等、特に若手/次世代  
人数：15～20名/期

## ■実施場所

下記メイン他、県内各所  
・信州大学  
・白馬村、富士見町等

## ■実施スケジュール [案]

4～6月末	準備・調整
7～8月中旬	受講者募集
9月中旬	開講式
10月～2月初	講座実施期間
2月末	報告会・修了式



## ■カリキュラム内容 (本事業で開発する教育プログラムは、研修パッケージ、大学の授業や独自プログラムへの活用を想定)

### ①カリキュラムおよび②習得できる能力

#### ①ユニバーサル・ツーリズム概論

- 日本や長野県の観光、ユニバーサルツーリズムの現状
- ハンディ理解ケース学習
- 接遇・おもてなしケース学習
- ユニバーサルツーリズムの基礎知識獲得（初期評価）

#### 受講生が学びをもとにモデル・ツアーコンシェルジュ（課題検証ツアー）の考案

- 地域を活用した受入環境のフィールド調査（交通、飲食、宿泊、医療等）
- 地域との課題共有Workshop（ユニバーサルツーリズムの推進における問題点や解決策を各主体とワークショップによる検討）

#### ③ユニバーサル・フィールド調査



#### ②ユニバーサルフィールド実習

- 富士見町での実践視察
- 他県の実践視察
- 各フィールド実習においてユーザとの意見交換
- アクティビティ知識の獲得
- ユーザ視点の獲得

#### ④ユニバーサル・プログラム実践

- 課題解決のための提案作成
- 提案フラッシュアップのためのワークショップ
- グループ/個人の提案作成
- 課題設定やプログラム作成、コーディネート能力の獲得

#### ▲ユニバーサルツアーコンシェルジュ育成のためのカリキュラム（案）

現場を使った実践と理論の循環型学習に始まり、最終的に受講生が提案するモニターツアーを実際におこなうことで、教育効果を検証する。

#### ◀ユニバーサル・フィールド実習イメージ

誰でも体験可能な新しいアクティビティを知ることで、山岳観光の市場可能性を学ぶ実践実習

### ③特色のある講義や研修、教育方法など

- ケースメソッドによるリアルな学び
- 実習・体験重視の学習機会を提供
- WSによる多様な視点や思考力育成
- フィールドでの実践演習
- 提案プログラムをモデルツアとして実施し、教育成果の検証・見える化

### ④社会人が受講しやすい工夫

- 開講時間帯…平日の昼間等、通常業務に支障が少ない時間帯で実施。
- 講義運用…全15回分の講義の一部を集中型で実施することで効率的・効果的な学びを提供
- 欠席・復習対応…信州大学の学習支援プラットフォームを活用し、フォロー

## ■実施体制スキーム

### ■事業推進体制構築の狙い

宿泊業等を中心にユニバーサルツアーコンシェルジュを育成。信州の山岳観光資源を活かす、ユニバーサルツーリズム推進プラットフォームの形成へ

国立大学法人  
**信州大学**  
(人材育成PRGの開発・実施)

長野県

(情報発信、連携構築等)

一般社団法人  
**ata Alliance**  
(講師：講義・実習等担当)

一般社団法人  
**U.S.I.Research**  
(講師：講義・実習等担当)

八方尾根開発株式会社、白馬観光開発株式会社、富士見高原リゾート株式会社  
日本航空株式会社、クラブツーリズム株式会社、株式会社finetrack  
(担当：講師派遣、視察受入等) 他、産業界等の協力を随時追加

白馬村、白馬村観光観光局、白馬村エリアの各地域団体、福祉等関連団体  
(担当：フィールド提供、研修会場提供、地域での調査やモデル事業実施の協力、調整等)